

II-2 訪日旅行に対する意識

1 訪日経験率とコロナ後の訪日旅行への意欲

引き続き幅広く根強い訪日意向
高い「継続的なウイルス対策」への期待

当財団（JTBF）と日本政策投資銀行（DBJ）は例年共同で、アジアおよび欧米豪の12地域を対象に「DBJ・JTBFアジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査」（以下、通常調査）を実施している。2020年度は新型コロナウイルス感染症の拡大が外国人旅行者の海外旅行・訪日旅行に与えた影響を調査すべく、「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査（2020年度 新型コロナ影響度 特別調査）」（以下、コロナ調査）を行った。同調査は、約6,000人の海外在住かつ海外旅行経験のある外国人に対して、①2019年12月～2020年5月、②2020年6月以降、③新型コロナウイルス終息後の3つの期間における海外旅行・訪日旅行に関する実施実態や意識について尋ねた。

本項では①2019年12月～2020年5月の海外旅行・訪日旅行に関する旅行実施の有無や意識を中心に紹介する。なおコロナ調査の概要および回答者属性は表II-2-1の通りである。

表II-2-1 調査概要・回答者属性

調査方法	インターネットによる調査
実施時期	2020年6月
調査地域	韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、イギリス、アメリカ、フランス、オーストラリアの12地域 ※中国は北京及び上海在住者のみ
調査対象者	20歳～59歳の男女、かつ、海外旅行経験者 ※中国-香港-マカオ間、マレーシア-シンガポール間、タイ-マレーシア間、アメリカ-カナダ・メキシコ・ハワイ・グアム間、オーストラリア-ニュージーランド間、イギリス・フランス-欧州諸国間の旅行については、海外旅行経験から除く
有効回答数	・全体：6,266人（韓国529、中国548、台湾530、香港511、タイ521、シンガポール517、マレーシア520、インドネシア518、イギリス505、アメリカ520、フランス522、オーストラリア525） ・訪日経験者：3,006人（韓国382、中国419、台湾439、香港428、タイ316、シンガポール282、マレーシア162、インドネシア155、イギリス79、アメリカ113、フランス108、オーストラリア123）

アジア8地域の中で最も訪日経験率が高いのは香港で、83.8%に上る（表II-2-2）。次いで台湾（82.8%）、中国（76.5%）、韓国（72.2%）と続いている。東南アジア4地域の中では、タイが60.7%と最も高い。また、欧米豪4地域の中では、オーストラリアが23.4%と最も高い（表II-2-2）。訪日回数別に見ると、アジア8地域の中で、香港、台湾、韓国、中国、タイ、シンガポールは、訪日経験者におけるリピーター（訪日経験回数2回以上）の割合が過半数を占めている。

また、新型コロナウイルス終息後に旅行したい国・地域について31の国・地域の中から複数回答式で尋ねたところ、日本が調査対象国・地域全体（以下、文中・図表中ともに「全体」）で1位（45.6%）となった（表II-2-3）。昨年度通常調査（2019年度）においても日本は全体において1位（49.4%）となっており、新型コロナウイルス流行後においても引き続き訪日意向が根強いことがうかがえる。調査地域別では、12地域中10地域で日本は1位、イギリスとフランスでは2位となっており、幅広い市場における訪日意向の高さがうかがえる。また、訪日旅行に期待することについては「衛生面における配慮、清潔さ、消毒などのウイルス対策全般の継続」が最もトップとなっている。

表II-2-2 海外旅行経験者の訪日経験率と訪日経験回数

（単位：％）

調査地域↓	訪日経験率	訪日経験回数	
全体	48.0	17.2	30.8
東アジア			
韓国	72.2	25.0	47.3
中国	76.5	31.4	45.1
台湾	82.8	17.5	65.3
香港	83.8	9.8	74.0
東南アジア			
タイ	60.7	22.5	38.2
シンガポール	54.5	22.6	31.9
マレーシア	31.2	17.3	13.8
インドネシア	29.9	18.3	11.6
欧米豪			
イギリス	15.6	9.5	6.1
アメリカ	21.7	8.8	12.9
フランス	20.7	10.9	9.8
オーストラリア	23.4	11.8	11.6

資料：「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査（2020年度 新型コロナ影響度 特別調査）」

表II-2-3 新型コロナウイルス終息後に観光旅行したい国・地域（複数回答上位15か国・地域）【海外旅行経験者】（単位：％）

順位	今後旅行したい国・地域	全体	韓国	中国	台湾	香港	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア	イギリス	アメリカ	フランス	オーストラリア
1	日本	45.6	①24.2	①64.9	①75.3	①76.4	①68.7	①50.2	①45.3	①43.5	②24.3	①21.3	②23.2	①25.3
2	韓国	21.9	-	②25.2	②30.1	③28.7	②34.0	③29.5	③32.2	③28.0	6.8	10.5	7.2	6.5
3	台湾	17.0	③18.2	12.6	-	②46.8	11.7	②32.5	②32.6	5.2	4.6	10.3	7.5	4.8
4	オーストラリア	16.3	18.0	14.4	15.5	15.5	7.0	21.6	20.4	16.7	20.8	17.3	12.4	-
5	タイ	16.3	14.4	15.1	13.1	26.8	-	26.9	-	16.3	15.5	10.3	11.1	13.0
6	シンガポール	15.0	14.2	③17.1	12.1	10.6	16.2	-	-	②33.3	12.6	9.0	7.0	17.5
7	ニュージーランド	14.6	14.6	15.3	③18.4	10.9	9.1	21.2	17.2	11.3	20.5	12.9	9.0	-
8	アメリカ	14.1	17.6	9.7	13.5	6.8	5.5	9.6	3.4	6.1	①38.6	-	①24.7	②20.6
9	スイス	12.1	②20.6	9.9	13.9	9.8	9.4	15.0	11.2	7.7	-	11.2	-	13.0
10	イギリス	12.0	11.6	8.2	11.0	12.3	9.1	12.4	9.2	8.8	-	②20.0	-	③18.4
11	カナダ	10.9	16.5	7.8	11.5	8.1	3.2	6.4	4.3	2.7	③23.4	-	③19.8	17.1
12	フランス	10.8	12.7	13.4	9.8	8.3	6.8	11.1	6.7	6.7	-	③18.0	-	15.2
13	中国	10.8	9.7	-	12.3	-	③19.6	13.9	22.3	4.8	6.2	8.8	5.5	4.8
14	香港	10.5	14.2	-	7.6	-	14.3	12.2	10.5	9.4	11.3	10.5	7.2	8.4
15	マレーシア	9.8	6.9	10.1	9.0	9.6	-	-	-	18.8	9.9	7.2	5.5	11.0

(注1) ①②③は各国・地域の上位1～3位を示している。

資料：「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査（2020年度 新型コロナ影響度 特別調査）」

(注2) 新型コロナウイルス終息後に海外観光旅行について「(したい) 思わない」を選択した対象者および次に海外観光旅行の検討を再開するタイミングについて

「現在の状況からは海外旅行の検討再開は考えられない」と回答した対象者を除く全員から回答を得た。

2 訪日旅行に対する新型コロナウイルスの影響

訪日旅行に大きな影響を及ぼす「不安感」

2019年12月～2020年5月の間、海外旅行を予定していた旅行者を対象に、海外旅行の実施・キャンセル有無を尋ねた。なお、旅行の目的は観光に限定せずビジネスなどあらゆる目的を含む海外旅行について調査を行った。

(1) 海外旅行の実施およびキャンセル

海外旅行の実施およびキャンセルについて、海外旅行を予定していた人全体の実施率は25.8%、キャンセル率は74.2%となった（表II-2-4）。最もキャンセル率が高かったのは中国（90.0%）であった。

①実施した理由と感染への不安度

2019年12月～2020年5月の間に海外旅行を実施した人に対し、実施理由と新型コロナウイルス感染への不安度を尋ねた。その結果、実施理由は全体で「当時は新型コロナウイルスの流行は深刻ではないと判断したから」が43.0%と最も高かった（表II-2-5）。一方、感染への不安度は「不安があった」「やや不安があった」の合計が53.1%と、必ずしも旅行を取り止める動機にはならずとも一定の海外旅行による感染への不安を抱いていることがうかがえる（表II-2-6）。

②キャンセルした理由と感染への不安度

2019年12月～2020年5月の間に海外旅行を予定していたがキャンセルした人に対し、キャンセル理由と新型コロナウイルス感染への不安度を尋ねた。その結果、キャンセル理由は全体で「新型コロナウイルスの感染予防のため」が70.1%と最も高かった（表II-2-7）。また、感染への不安度は「不安があった」「やや不安があった」の合計割合が全体で87.2%となった。特にアジアは欧米豪と比較して不安度が高い傾向がみられた（表II-2-8）。

表II-2-4 海外旅行の実施及びキャンセル（単一回答）

（単位：％）

調査地域→	全体	韓国	中国	台湾	香港	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア	イギリス	アメリカ	フランス	オーストラリア
回答数（人）	4,014	290	509	309	399	322	352	300	331	288	311	315	288
2019年12月～2020年5月の間、海外旅行の予定があったが、キャンセルした	74.2	71.4	90.0	79.0	75.9	75.8	61.1	80.7	78.2	69.4	69.5	62.9	67.0
2019年12月～2020年5月の間に海外旅行を実施した	25.8	28.6	10.0	21.0	24.1	24.2	38.9	19.3	21.8	30.6	30.5	37.1	33.0

資料：「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査（2020年度 新型コロナ影響度 特別調査）」

表II-2-5 海外旅行を実施した理由【海外旅行を実施した人】(複数回答)

(単位: %)

順位	実施した理由	全体	韓国	中国	台湾	香港	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア	イギリス	アメリカ	フランス	オーストラリア
	回答数(人)	1,035	83	51	65	96	78	137	58	72	88	95	117	95
1	当時は新型コロナウイルスの流行は深刻ではないと判断したから	43.0	①53.0	①43.1	①47.7	①46.9	①44.9	①47.4	①48.3	②37.5	①50.0	①23.2	①38.5	①38.9
2	業務上、必要な訪問だったから	17.9	10.8	②29.4	12.3	10.4	③26.9	11.7	③19.0	①41.7	②15.9	14.7	②24.8	8.4
3	旅行を中止・変更するとキャンセル料が発生することになるから	16.7	③15.7	9.8	②21.5	②17.7	21.8	②19.7	②32.8	12.5	③13.6	17.9	9.4	③12.6
4	その時期にしか実施できない旅行だったから	15.5	③15.7	③27.5	②21.5	9.4	17.9	13.1	17.2	③19.4	③13.6	13.7	17.1	9.5
5	新型コロナウイルスの流行により普段は混雑している宿泊施設・観光施設等が空いていたから	13.1	7.2	21.6	10.8	4.2	②29.5	8.8	15.5	15.3	6.8	③18.9	③17.9	8.4
6	新型コロナウイルスの流行により普段より旅行代金が安く済んだから	11.1	6.0	23.5	10.8	5.2	20.5	4.4	12.1	12.5	4.5	②20.0	12.0	11.6
7	日常生活における自粛に疲れたから	10.6	②18.1	13.7	18.5	③14.6	9.0	5.8	10.3	4.2	10.2	12.6	8.5	7.4
8	冠婚葬祭等への出席も兼ねていたから	10.0	6.0	5.9	4.6	3.1	3.8	10.9	17.2	11.1	5.7	16.8	10.3	②21.1
9	感染者の少ない国・地域へ避難するため	7.5	9.6	2.0	12.3	12.5	5.1	4.4	1.7	2.8	5.7	11.6	9.4	9.5
-	上記以外の理由	7.3	3.6	3.9	7.7	4.2	5.1	③16.1	5.2	8.3	11.4	4.2	2.6	10.5
-	特に理由はない	7.2	7.2	3.9	9.2	③14.6	3.8	10.2	5.2	1.4	4.5	2.1	7.7	11.6

(注1) ①②③は各国・地域の上位1~3位を示している。

資料:「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査(2020年度 新型コロナ影響度 特別調査)」

表II-2-6 感染への不安度【海外旅行を実施した人】(単一回答)

(単位: %)

調査地域→	全体	韓国	中国	台湾	香港	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア	イギリス	アメリカ	フランス	オーストラリア
回答数(人)	1,035	83	51	65	96	78	137	58	72	88	95	117	95
不安があった	18.7	12.0	45.1	13.8	11.5	48.7	9.5	29.3	43.1	6.8	10.5	14.5	9.5
やや不安があった	34.4	26.5	37.3	44.6	50.0	32.1	29.2	29.3	38.9	33.0	33.7	30.8	32.6
どちらともいえない	15.9	14.5	0.0	13.8	9.4	2.6	21.9	15.5	11.1	17.0	32.6	17.9	20.0
あまり不安はなかった	16.5	28.9	2.0	15.4	10.4	11.5	21.9	15.5	4.2	22.7	12.6	22.2	17.9
不安はなかった	14.4	18.1	15.7	12.3	18.8	5.1	17.5	10.3	2.8	20.5	10.5	14.5	20.0

資料:「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査(2020年度 新型コロナ影響度 特別調査)」

■ 各国・地域において選択率が最も高い項目 ■ 各国・地域において選択率が2番目に高い項目

表II-2-7 海外旅行をキャンセルした理由【予定していた海外旅行をキャンセルした人】(複数回答)

(単位: %)

順位	キャンセルした理由	全体	韓国	中国	台湾	香港	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア	イギリス	アメリカ	フランス	オーストラリア
	回答数(人)	2,979	207	458	244	303	244	215	242	259	200	216	198	193
1	新型コロナウイルスの感染予防のため	70.1	①84.1	①86.9	①80.3	①75.6	①76.6	①72.1	①79.3	①82.6	②44.5	①43.5	②32.3	①49.2
2	航空便が運休となったから	40.1	②29.0	②37.3	③31.6	②46.9	②42.2	②42.8	③38.0	②40.9	①52.5	③36.1	①44.9	②41.5
3	親族・知人にキャンセルを薦められたから	29.9	10.1	③30.8	②33.6	③35.3	24.6	③41.9	②40.5	23.2	③25.5	②36.6	③21.7	③30.6
4	会社から出張の延期・中止を指示されたから	19.5	③13.5	17.0	20.5	13.2	③25.0	20.0	18.2	③30.1	16.0	27.3	17.7	17.1
5	パッケージツアーが販売(催行)中止となったから	14.5	7.2	14.8	10.2	13.9	18.0	9.3	6.2	15.8	21.0	22.2	21.2	16.1
-	上記以外の理由	1.7	1.0	0.0	2.0	2.3	1.2	5.6	1.7	0.8	2.5	1.9	0.5	3.6
-	特に理由はない	0.7	0.0	0.0	1.6	0.0	1.2	1.4	0.0	0.0	0.5	2.3	1.0	2.1

(注1) ①②③は各国・地域の上位1~3位を示している。

資料:「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査(2020年度 新型コロナ影響度 特別調査)」

表II-2-8 感染への不安度【予定していた海外旅行をキャンセルした人】(単一回答)

(単位: %)

調査地域→	全体	韓国	中国	台湾	香港	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア	イギリス	アメリカ	フランス	オーストラリア
回答数(人)	2,979	207	458	244	303	244	215	242	259	200	216	198	193
不安があった	57.0	71.0	73.8	58.6	39.6	79.1	49.3	64.0	74.5	42.0	30.6	39.4	38.3
やや不安があった	30.2	22.7	24.5	32.8	48.2	18.9	30.7	26.9	21.2	32.0	36.1	37.9	33.7
どちらともいえない	8.1	4.8	0.9	2.0	6.6	1.2	17.2	5.8	2.7	15.5	24.1	13.1	16.1
あまり不安はなかった	3.9	1.4	0.7	5.7	5.0	0.8	2.3	2.9	1.2	8.0	6.5	7.1	9.8
不安はなかった	0.9	0.0	0.2	0.8	0.7	0.0	0.5	0.4	0.4	2.5	2.8	2.5	2.1

資料:「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査(2020年度 新型コロナ影響度 特別調査)」

■ 各国・地域において選択率が最も高い項目 ■ 各国・地域において選択率が2番目に高い項目

(2) 訪日旅行の実施およびキャンセル

次に訪日旅行の実施およびキャンセルについて見ると、海外旅行の訪問地として日本を予定していた人のうち、訪日旅行の実施率は22.1%、キャンセルした割合は77.9%となった。

①実施した理由と感染への不安度

2019年12月～2020年5月の間に訪日旅行を実施した人について、実施理由は全体で「当時は新型コロナウイルスの流行は深刻ではないと判断したから」が41.8%と最も高かった（表II-2-9）。一方、感染への不安度は「不安があった」「やや不安があった」の合計割合が64.0%を占めている（図II-2-1）。

表II-2-9 訪日旅行を実施した理由

【訪日旅行を実施した人】（複数回答）

順位	実施した理由	(単位：%)
1	当時は新型コロナウイルスの流行は深刻ではないと判断したから	41.8%
2	業務上、必要な訪問だったから	18.0%
3	旅行を中止・変更するとキャンセル料が発生することになるから	16.3%
4	新型コロナウイルスの流行により普段は混雑している宿泊施設・観光施設等が空いていたから	15.9%
5	その時期にしか実施できない旅行だったから（例：新婚旅行等）	15.5%
6	日常生活における自粛に疲れたから	13.8%
7	新型コロナウイルスの流行により普段より旅行代金が安く済んだから	11.3%
8	感染者の少ない国・地域へ避難するため	9.2%
9	冠婚葬祭等への出席も兼ねていたから	7.1%
-	上記以外の理由	4.6%
-	特に理由はない	11.7%

(注) 回答数は239人

資料：「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査（2020年度 新型コロナ影響度 特別調査）」

表II-2-10 訪日旅行をキャンセルした理由

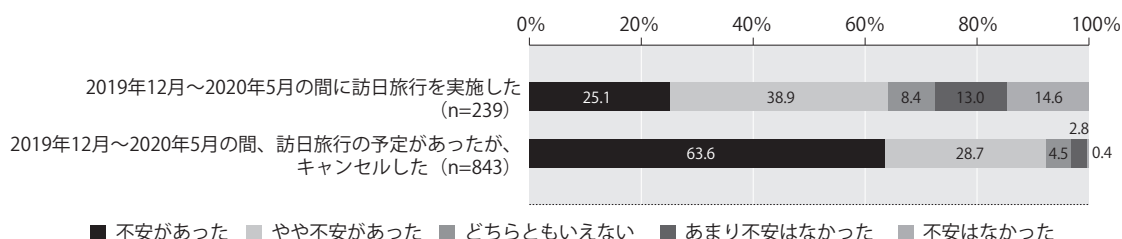
【訪日旅行をキャンセルした人】（複数回答）

順位	キャンセルした理由	(単位：%)
1	新型コロナウイルスの感染予防のため	79.8%
2	航空便が運休となったから	39.5%
3	親族・知人にキャンセルを勧められたから	29.3%
4	会社から出張の延期・中止を指示されたから	16.8%
5	パッケージツアーが販売（催行）中止となったから	13.8%
-	上記以外の理由	1.5%
-	特に理由はない	0.7%

(注) 回答数は843人

資料：「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査（2020年度 新型コロナ影響度 特別調査）」

図II-2-1 感染への不安度【訪日旅行を実施およびキャンセルした人】（単一回答）



資料：「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査（2020年度 新型コロナ影響度 特別調査）」

②キャンセルした理由と感染への不安度

2019年12月～2020年5月の間に訪日旅行を予定していたがキャンセルした人について、キャンセル理由を尋ねたところ、全体で「新型コロナウイルスの感染予防のため」が79.8%と最も高かった（表II-2-10）。また、感染への不安度は「不安があった」「やや不安があった」の合計割合が全体で92.3%となっている（図II-2-1）。

(3) 新型コロナウイルス感染症の拡大が訪日旅行に与えた影響

訪日旅行と日本を含む海外旅行を実施した人について不安感（「不安があった」と「やや不安があった」）を比較すると、訪日旅行を実施した人の不安感（64.0%）は日本を含む海外旅行を実施した人の不安感（53.1%）を11ポイントほど上回り、訪日旅行をキャンセルした人の不安感（92.3%）も、日本を含む海外旅行をキャンセルした人の不安感（87.2%）を5ポイントほど上回った。

また、キャンセル割合の比較においても、訪日旅行のキャンセル割合（77.9%）は、日本を含む海外旅行のキャンセル割合（74.2%）よりわずかではあるが高い傾向にあった。

日本は、新型コロナ感染症の発生源である東アジアに立地すること、主要な訪日客であるアジア圏の新型コロナウイルス感染症への不安感が欧米豪に比べて高いことが訪日旅行に影響を及ぼしていることがうかがえる。

一方、海外旅行者の訪日意向は根強い人気を有することから、新型コロナウイルス感染症の予防、拡大防止に関する日本の観光業界の取り組み等を幅広く発信することが、旅行者の不安感を払しょくし、訪日旅行のいち早い回復につながるものと考えられる。

（武智玖海人・柿島あかね）